

今後の検討体制・スケジュール

令和4年6月20日

国土交通省航空局安全部航空機安全課

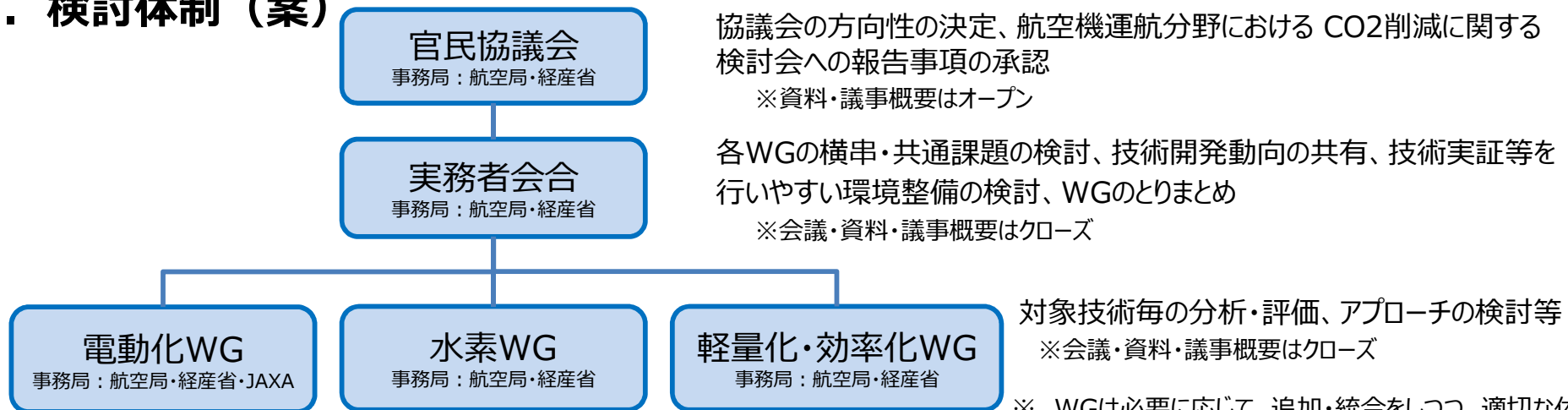
経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課

1. 構成員

構成員	学識経験者	東大・李家教授
	国内メーカー※	IHI、川崎重工業、GSユアサ、ジャムコ、シンフォニア、新明和工業、SUBARU、住友精密工業、多摩川精機、東レ、ナブテスコ、三菱重工業
	業界団体	AIDA、CerTCAS、ÉCLAIR、SJAC
	エアライン	ANA、JAL
	研究機関	JAXA、NEDO
オブザーバー	空港	成田国際空港、中部国際空港、新関空国際空港、関西エアポート
	業界団体	定期航空協会
	関係省庁	文部科学省宇宙開発利用課
	航空局	航空戦略室、航空事業課、空港技術課、空港計画課、安全企画室、安全政策課、航空安全推進室、無人航空機安全課
事務局	国土交通省	航空局安全部航空機安全課
	経済産業省	製造産業局航空機武器宇宙産業課

※メーカーの構成員・オブザーバの追加にあたっては、具体的な新技術の開発又はその具体的計画があり、標準化団体への人員投入等、実質的な貢献が期待できる者に限り、参加を認める想定。

2. 検討体制 (案)



※ WGは必要に応じて、追加・統合をしつつ、適切な体制で議論していく 2

3. 2022年度以降のスケジュール（案）

	2022年度												2023年度		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
官民協議会	第1回 ▲												第2回 ▲	第3回 ▲	
	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の脱炭素化に向けた新技術官民協議会の設置 グリーン成長戦略を踏まえた新技術の社会実装に向けた取組 各構成員からの取組説明 今後の検討体制・スケジュール 												<ul style="list-style-type: none"> 2023年度以降の計画の最終とりまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿った基準策定等の推進の確認・必要に応じて軌道修正
実務者会合	第1回 ▲								第2回 ▲		第3回 ▲			引き続き検討	
	<ul style="list-style-type: none"> 官民協議会で挙げられた課題の整理（共通課題・各WGでの課題） 各WGで議論する課題・方向性 今後のスケジュール 									<ul style="list-style-type: none"> 技術分野別WGからの状況確認 技術分野横断的な課題とその解決策の検討 等 			<ul style="list-style-type: none"> 2023年度以降の計画の最終とりまとめ案の検討 		
技術分野別WG （電動化、水素、軽量化・効率化）															
	<ul style="list-style-type: none"> 重点的に安全基準の検討・導入を行う対象技術の選定 各対象技術の安全基準の検討・導入のアプローチ パイロットプロジェクトの可能性検討 工程表の具体化（各対象技術への細分化） 														<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿った基準策定等の推進のフォローアップ

○検討対象

- 電動航空機、水素航空機等の新技術の導入にあたっては、設計・開発、基準策定、エアラインへの機材の導入、空港周辺インフラの整備等さまざまなフェーズが想定される場所。
- 本協議会においては、優位性のある対象技術分野の特定、それらの技術開発状況を踏まえた戦略的な安全基準・国際標準の策定に向けた取組、及び認証の促進に向けた取組を対象とする。

協議会の検討対象

- ・ メーカーによる装備品・部品としての設計・開発※、優位性のある対象技術分野の特定
※ NEDO事業・GI基金事業等により支援
- ・ 産学官による戦略的な安全基準の策定・国際標準化
- ・ メーカー・航空局による航空機・装備品等の認証活動

必要に応じインプット

エアライン

- ・ 将来の機材導入にあたっての技術開発等のニーズ

必要に応じ連携

空港会社等

- ・ 空港周辺インフラの検討
※ 水素航空機については、令和3年度は、「水素航空機の実現に向けた空港周辺インフラ検討会」において検討